

## 当面の電力需給見通しについて

### 1. 需給状況と見通し

○ 東京電力では原子力発電の安全と安心を確かなものにするため、原子炉をとめて綿密な点検・補修を行っています。5月9日に柏崎刈羽6号機(135.6万kW)が発電を開始しましたが、他の16基については現在、運転の停止が続いています。

○ 6月については、仮に原子力プラント16基の停止が続き、高需要が発生した場合に厳しい需給状況となることを見込まれます。(高需要発生時には▲300万kW)

➢ このため検討・調整中の追加供給力を活用して、需給バランスを何とか保てる見込みです。ただし、追加供給力対策には、不安定な要素が多く(試運転電力は補修や点検のため安定的に期待できない可能性があります)、さらに発電設備の運転停止リスク、気温上昇による需要増のリスクを考慮すると、合わせて300万kW程度の予備的な供給力を保有したいところです。

○ 夏季については、平日昼間に6,000万kWを超える需要(猛暑時6,450万kW)の発生が予想され、原子力16基の停止が続けば、供給力が大幅に不足する見通しです。(▲750万kW)

➢ 検討・調整中の追加供給力(約300万kW)を最大限に活用していきますが、予備的な供給力を考慮すると、柏崎刈羽6号機を含め、原子力プラント8~10基程度の運転再開がほしいところです。

高需要は盆休みを除く7月上旬から9月上旬にかけて、平日昼間にはいつでも発生する可能性があります。  
・ 5,500万kW以上の高需要発生：夏季平日(盆休み期間を除く)43日中15日程度。  
・ 6,000万kW以上の高需要発生：夏季平日(盆休み期間を除く)43日中8日程度。

○ 各月の需給見通し (停止中の原子力プラントが継続して停止すると仮定)

【通常時】(通常的气象条件の場合)

(万kW)

	6月	7月	8月
需要	4,900	6,100	6,100
供給力(※1)	5,200	5,700	5,700
予備力	300	△400	△400

【高需要時】(厳しい気象条件の場合)

(万kW)

	6月	7月	8月
需要	5,500	6,450	6,450
供給力(※1)	5,200	5,700	5,700
予備力	△300	△750	△750

### 2. 供給力および需要面の対策

○ これまでに見通しのついた主なもの(左表の供給力(※1)に含めてあります)

長期計画停止火力再開：夏季約220万kW

発電所	号機	供給力	再開時期
横須賀	8号	35万kW	H14/11/27 <sub>(※)</sub>
鹿島共火	2号	35万kW	H14/12/3 <sub>(※)</sub>
横須賀	7号	35万kW	H14/12/27 <sub>(※)</sub>
川崎	5号	17.5万kW	H15/2/4 <sub>(※)</sub>
横須賀	6号	35万kW	H15/2/21 <sub>(※)</sub>
横須賀	5号	35万kW	H15/5/29 <sub>(※)</sub>
横須賀	2号	26.5万kW	H15/7月上旬

停止時期の繰り延べ：約10万kW

発電所	号機	供給力	時期延期
君津共火	2号	12.5万kW	6月~→10月~

※夏季対策として合計約460万kWを確保。

他社からの応援融通計画受電：夏季約75万kW

・ 4月以降、65万kW\*(北陸・関西・九州：35万kW、北海道：30万kW)を受電  
(\*うち5万kWは関西の水力機の50Hz運転)  
・ 6月中旬からは、さらに中部電力から9万kWを受電。(電発佐久間水方の50Hz運転による)

その他：夏季約150万kW

・ 新設火力発電所の運転開始時期繰り上げ  
(品川1-3軸、富津3-2軸、各38万kW)  
・ 自社火力補修時期調整  
(7月：10万kW、8月：70万kW)  
・ 自社揚水式水力の補修中止、繰り延べ

○ 検討中の追加供給力対策(左表の供給力(※1)に含まれていません) (万kW)

	6月	7月	8月	備考
需給応援融通	90	90	90	北海道本州連系と周波数変換設備をフルに活用。
試運転電力	170	180	120	常陸那珂1号(100万kW)、品川1-3軸・富津3-2軸・同1軸(各38万kW)。
自家発余剰の購入	40	40	40	JR東日本様等。お客さまの自家消費の状況により受電量が削減される場合があります。
火力の増出力運転	40	50	50	
その他	30	10	10	現在検討中。
合計	370	370	310	

○ 需要対策 (万kW)

随時調整契約実効値(推定)	120	120	120	契約拡大に向けて、全力をあげて取組中。
---------------	-----	-----	-----	---------------------

さまざまなリスクを考慮し、追加供給力対策の確実性を高めるとともに、すでにお客さまにご協力いただいている需要面の対策につきまして、さらなる拡大をお願いして参ります。

・ 需給調整契約の拡大……すでに、計画調整：約140万kW、随時調整：約120万kWのご協力をいただける見込みですが、さらなる契約拡大をお願いして参ります

・ さらなる節電のお願い……高需要が予想される夏の期間、テレビCMを使ったでんき予報を流し、広く節電を呼びかけて参ります

